

26年度決算の概要

「新宿区の財政について」冊子にまとめました

区財政の現状と課題を区民の皆さんにお知らせし、今後の財政運営の議論に生かしていただけるよう、冊子を作成しました。10月27日(火)から財政課・特別出張所・区政情報センター(本庁舎1階)で配布するほか、区立図書館で閲覧できます。新宿区ホームページでもご覧いただけます。



平成27年第3回区議会定例会で、26年度の決算が認定されました。一般会計を中心に、概要をお知らせします。
【問合せ】財政課(本庁舎3階) ☎(5273)4049・FAX(3209)1178へ。

基本目標の達成に向けた主な取り組み

26年度は、20年度からの新宿区総合計画に基づく基本目標(まちづくり編6つ・区政運営編2つ)の達成のために策定した第二次実行計画(計画期間/24年度~27年度)の3年目であることから、「将来を見据えた堅実な財政運営に立脚し、時代の変化に機動的かつ的確に対応して区民生活を支えるとともに、新宿区の魅力を高めるため、第二次実行計画を確実に推進する予算」と位置付け、区政が直面する課題に積極的に取り組みました。26年度の主な取り組みは次のとおりです。

まちづくり編

目標1 区民が自治の主体として、考え、行動していけるまち

◎NPOをはじめ地域を支える社会活動団体のネットワークの拡充と情報提供(5,805万8千円)

目標2 だれもが人として尊重され、自分らしく成長していけるまち

◎私立認可保育所の整備支援(16億5,769万6千円)
◎特別な支援を必要とする児童・生徒への支援(巡回指導・相談体制の構築)(8,989万4千円)
◎女性の健康支援(1,868万2千円)

目標3 安全で安心な、質の高い暮らしを実感できるまち

◎特別養護老人ホームの整備(3億9,867万円)
◎障害者入所支援施設(知的等)の設置促進(1億4,520万5千円)
◎建築物等耐震化支援事業(2億8,555万7千円)
◎災害情報システムの再構築(2億4,224万4千円)

目標4 持続可能な都市と環境を創造するまち

◎資源回収の推進(7億8,346万1千円)
◎区民ふれあいの森の整備(1億9,559万5千円)

目標5 まちの記憶を活かした美しい新宿を創造するまち

◎地区計画等のまちづくりルールの策定(3,722万2千円)
◎みんなで考える身近な公園の整備(8,077万9千円)

目標6 多様なライフスタイルが交流し、「新宿らしさ」を創造していくまち

◎(仮称)「漱石山房」記念館の整備(8,628万円)
◎セントラルロード等の道路の整備(1億5,694万1千円)

区政運営編

目標1 好感度一番の区役所の実現

◎ホームページのリニューアル(2,262万円)

目標2 公共サービスのあり方の見直し

◎東新宿保健センター等健康推進施設(新宿区医師会施設併設)の建設(5億1,136万3千円)

財政収支

●一般会計・特別会計の財政収支(下表1~3)

26年度は、臨時福祉給付金や生活保護費などの扶助費が引き続き増となったものの、企業収益や雇用環境等の改善に伴い、特別区民税や特別区交付金などの一般財源が増となり、実質単年度収支(※)は2年連続で黒字になりました。

しかし、経常収支比率は25年度に比べて2.6ポイント改善したものの、依然として適正水準を超える83.9%となっており、財政構造が硬直化していることを示しています。

※実質収支から基金の取り崩しと積み立ての影響額と前年度の実質収支を除いたもの

表1 一般会計の財政収支(△は減)

項目	26年度	25年度	増減
歳入総額 A	1,391億585万3千円	1,334億7,960万3千円	56億2,625万円
うち特別区税	424億1,503万7千円	405億7,107万6千円	18億4,396万1千円
うち特別区交付金	299億3,226万8千円	269億4,860万3千円	29億8,366万5千円
歳出総額 B	1,350億8,866万円	1,300億2,546万1千円	50億6,319万9千円
形式収支(A)-(B) C	40億1,719万3千円	34億5,414万2千円	5億6,305万1千円
翌年度に繰り越すべき財源 ※1 D	1億7,188万8千円	1億8,981万5千円	△1,792万7千円
実質収支(C)-(D) E	38億4,530万5千円	32億6,432万7千円	5億8,097万8千円
単年度収支 ※2 F	5億8,097万8千円	1億8,443万6千円	
積立金 G	19億8,742万6千円	19億719万3千円	8,023万3千円
積立金取り崩し額 H	10億円	18億円	△8億円
実質単年度収支(F)+(G)-(H) I	15億6,840万4千円	2億9,162万9千円	
経常収支比率 ※3 J	83.9%	86.5%	△2.6ポイント

※1 明許繰越分(事業が終了せず翌年度に繰り越す事業費)

※2 実質収支から前年度の実質収支を差し引いた額

※3 区税などの経常的な収入が、人件費や施設の維持などの経常的支出にどれだけ充てられたかを示す比率。70%~80%が適正水準とされ、この比率が高くなるほど財政に余裕がないことを示します。

表2 一般会計の性質別経費

区分	26年度		25年度		増減	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
義務的経費	735億円	54.4%	704億円	54.2%	31億円	4.3%
投資的経費	126億円	9.3%	110億円	8.4%	16億円	14.6%
その他経費	490億円	36.3%	486億円	37.4%	4億円	0.9%
合計	1,351億円	100%	1,300億円	100%	51億円	3.9%

※端数処理の関係で、合計数値や構成比が合わないことがあります。

表3 特別会計の財政収支(△は減)

区分	国民健康保険特別会計	介護保険特別会計	後期高齢者医療特別会計
歳入歳出予算現額	359億8,357万7千円	241億8,957万7千円	66億806万9千円
25年度比(増減率)	△1億9,349万6千円(0.5%減)	17億4,068万円(7.8%増)	3億4,363万1千円(5.5%増)
歳入決算額(収入率)	357億1,044万4千円(99.2%)	222億5,248万7千円(92.0%)	65億3,196万6千円(98.8%)
25年度比(増減率)	△1億4,587万4千円(0.4%減)	12億4,610万3千円(5.9%増)	4億5,921万5千円(7.6%増)
歳出決算額(執行率)	351億7,425万2千円(97.8%)	214億9,975万9千円(88.9%)	64億9,115万7千円(98.2%)
25年度比(増減率)	△1億9,184万3千円(0.5%減)	10億6,682万8千円(5.2%増)	4億5,767万3千円(7.6%増)

●基金・区債の現在高(右表4)

区債の償還が進んだことで、区債現在高(区の借金)は203億円と16年連続で減少している一方、26年度末の基金現在高は349億円で、前年度から3億円増加しました。しかし、区財政を取り巻く財政環境が厳しい中で将来にわたり安定した財政基盤を確保するには、より一層、効果的・効率的な財政運営が必要です。

表4 基金・区債の現在高(△は減)

項目	26年度末	25年度末	増減額
基金現在高	349億円	346億円	3億円
区債現在高	203億円	222億円	△19億円

健全化判断比率

自治体の財政状況を早期に把握し、破綻を防ぐことを目的に制定された「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」では、自治体財政の健全度を測る4つの指標(実質赤字比率・連結実質赤字比率・実質公債費比率・将来負担比率)を定めています。

26年度決算では、4指標すべてで国の定める基準(早期健全化基準)を下回り、区の財政が健全であることを示しています。

健全化判断比率

(単位:%)

区分	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
新宿区	—	—	△2.0	—
(参考) 早期健全化基準	11.25	16.25	25.0	350.0

※26年度決算は、すべての会計で実質収支が黒字となったため、実質赤字比率・連結実質赤字比率は算出されませんでした。また、区の借金の残高等よりも基金等区の将来負担額を解消する財源の方が多かったため、将来負担比率も算出されませんでした。